

事務事業名		日本建築行政会議参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	建築指導課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	指導係	担当課長名	入江仁一	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 快適で安全な住まいづくりの推進と市営住宅の適正な管理・運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10824	一般	8	1	2	日本建築行政会議参画事業					
事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業								
	任意的事業・義務的事業		任意的事業								
	実施方法		直営								
	事業分類		参画事業								
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	16年度～ 年度		根拠法令 条例等	リーディングプロジェクト					該当なし
						市長マニフェスト					該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
日本建築行政会議に会員として負担金を支出している。同会議主催の会議や研修会に参加することにより、建築行政に関する情報収集や意見交換を行っている。 日本建築行政会議とは、建築行政の推進を目的として、都道府県、特定行政庁及び民間建築確認機関を会員として構成している団体である。			(市の活動)日本建築行政会議に負担金の支出、年1回の全体会議出席 (日本建築行政会議の活動)年1回の全体会議(総会)、建築行政に関する情報収集と会員市への情報提供、国への要請活動							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
会議出席回数			回	0	0	0	0	0		
会議出席者数(のべ人数)			人	500	500	500	500	500		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①特定行政庁(参画対象団体) 日本建築行政会議			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			特定行政庁の数		団体	452	450	450	450	450
			指定確認検査機関の数		団体	124	124	124	124	124
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
①建築行政についての他市の状況や最新情報を得る。			会議によって、他市の状況や最新情報を得られている(技		%	100	100	100	100	100
②建築行政についての技術向上を図る。			会議参画が有意義である回答をした職員の割合		%	100	100	100	100	100
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
快適で安全な住宅づくりを推進する。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			建築確認における完了検査の検査済証交付率		%	100	111	93	94	95

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	105	105	105	105	105			
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	105	105	105	105	105			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費	5	旅費	5	旅費	5	旅費	5
			負担金、補助及び交付金	100	負担金、補助及び交付金	100	負担金、補助及び交付金	100	負担金、補助及び交付金	100
人件費	人	10	10	10	10	10				
のべ業務時間	時間	150	150	150	150	150				
人件費計(B)	千円	584	591	591	591	591				
トータルコスト(A)+(B)	千円	689	696	696	696	696				

事務事業名	日本建築行政会議参画事業	担当部	都市建設部	担当課	建築指導課	担当係	指導係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成16年度から特定行政庁の開設に伴って行うことになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 快適で安全な住宅づくりを推進するためには、適確な関係法の運用が必要になる。そのためには、一翼となる建築基準法上の事務執行のため、貴重な判断情報が交換できる協議会への参加はぜひとも必要となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 佐野市は建築確認事務を行っている特定行政庁でもあるので市が行う責務がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 日本建築行政会議の目的が、事務事業の意図するものになっており、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 会議の開催場所によっては、旅費の減額もありうる。法令等の参照にインターネット、書籍などを活用しているが、建築物の使い方、法規の変更等が複雑化しているので現状では人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 日本建築行政会議の維持・継続のためには受益者負担金は必要
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	各種調査等の最新の情報が得られる等廃止・休止は出来ない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			